



暑かった夏も終わり、朝晩の冷え込みも強くなってきましたね。季節の変わり目は体調も崩しやすいので、体調管理には気を配って下さい。7月に続いて第8号となったCSC通信、今回も内容盛りだくさんでお送りいたします！

CSCでの研修医教育

今回は、臨床シミュレーションセンターで研修医教育を行っている救急科/第二外科の松坂先生に、その活動内容についてご紹介して頂きました。

シミュレーションセンターと研修医教育

旭川医科大学 救急科/第二外科 助教 松坂 俊

第二外科より救急科に出向させていただいている松坂と申します。今回は、現在のシミュレーションセンターでの活動について書かせていただきます。

約10年前から臨床研修医制度が導入され、2年間の研修義務が課せられました。当時は多科にわたる研修でしたが、それは廃止され、必修科は少なくなっています。自分の経験および友人との話でも研修での経験は病院間で非常に差があり、一睡もできない外来当直が3日に1回あったり、毎日帰宅が0時を回るような研修医もいれば、その一方で自分の自由な勉強時間やプライベートの時間を比較的保てる研修医もいます。どちらがすばらしい医師になるかについては最終的にはその人次第ということになり、経験症例が多い、拘束時間が長いからと言って素晴らしい医療ができるとは思いませんが、症例が少ない場合にはかたよりが生まれ、より本人の努力が必要になります。そして現在大量の情報がある中、自己学習のみでは経験の少ない医師は正しい情報から勉強することは困難です。また、大学は高次医療である分、一般的な病気が比較的少なく、研修科も細分化されており、最新の正しい知識は得られるかもしれませんが、かたよりが大きいように思います(たとえば咽頭炎、風邪の正しい診断、治療法をすらすらと言えるでしょうか?)。特に地域枠とされている先生方は、今後一般的な病気を見る際に必要な、特に救急疾患や関連する病態の多岐にわたる知識は必須であり、これについて現在救急医学講座 藤田教授のご厚意で他科にも声をかけていただき、週1回、主に木曜日、19時から、約50回の研修医勉強会及び、2週間に1回主に火曜日、約20回の研修医発表会を臨床研修部との合同の形で今年度は開催を予定しています。コンセプトは「明日に使える知識」で、基本的には実際の症例を交えて Discussion したり、ただの講義形式ではなく、質問をし、Interactive な形をとっています。すでに20回以上が開催され、1年目研修医を中心に毎回約20人が出席しており、この勉強会の必要性を確信しています(1年目は出席率約60%以上、ほとんどが仕事の関係での欠席)。その他学生への第二外科からの外科的分野の勉強会にも使用させていただいています。内容についての詳細は研修医室の前に予定のチラシを貼っています。またはシミュレーションセンターにお問い合わせいただければと思います。



この記事を読んでいただき、この活動にご理解いただける先生方がいらっしゃれば、ぜひ研修医をこの時間にフリーにさせていただき、参加させていただければと思います。また、我こそは研修医にぜひ教えたいという方がいらっしゃれば、まだ12月以降は未定の日程もありますので、ぜひ救急科松坂までご連絡いただければと思います。今後も研修医のNeedsに沿った勉強会を開催する予定です。

セミナーのお知らせ

シミュレーションセンターで近日開催を予定しているセミナーのお知らせです。

* 詳細につきましては、救急科 松坂先生までお問い合わせください。

- | | |
|-----------|--|
| 10月2日(木) | 第26回研修医向け勉強会「急性腎不全と透析の適応」「人工透析の使い方」
講師:臨床工学技士 宗万 先生 ※30分程度 実習あり |
| 10月9日(木) | 第27回研修医向け勉強会「外来発熱患者へのアプローチ」 |
| 10月16日(木) | 第28回研修医向け勉強会「発熱 Case studies」～抗菌薬を選んでみよう～ |
| 10月30日(木) | 第29回研修医向け勉強会「漢方薬の使い方①」
(株)ツムラご協力、麻酔科 間宮 先生 監修 |
| 11月6日(木) | 第30回研修医向け勉強会「経腸栄養法」
大塚製薬工場ご協力 |
| 11月13日(木) | 第31回研修医向け勉強会「漢方薬の使い方②」
(株)ツムラご協力、麻酔科 間宮 先生 監修 |



マガジンラックを設置しました

コンピュータアシストラボ内にマガジンラックを設置し、各社シミュレータのカタログやパンフレットを見られるようにしました。

ご自由に閲覧ください。

カタログ等の貸し出しも致しますので、必要な方はスタッフまでお声掛け下さい。

(※無断持ち出し厳禁)



CSCの利用について

最近、センターを正しく利用して頂けていないことがあります。以下の注意点を守ってご利用頂きますよう、お願い致します。

- ・利用後は冷房・コンピュータ機器・電気の電源を切る。
- ・使用した物品はもとの位置へ戻す。
- ・利用後は使用簿へ必要事項を記入する。(ラボ毎に設置しています。)
- ・センター内は原則飲食禁止。
- ・ゴミは分別して廃棄する。

※ペットボトル専用のゴミ箱は設置していませんので、ペットボトルの廃棄はご遠慮ください。(センター向かいのお手洗い前に専用ゴミ箱がありますので、そちらへお願い致します。空き缶・空き瓶も同様です。)

シミュレータの紹介：レサシアン with QCPR 全身 SimPad スキルレポータ

今回は、今年2月に購入したばかりの新しいCPR実技の練習用シミュレータ「レサシアン with QCPR 全身 SimPad スキルレポータ」をご紹介します。

このシミュレータは、単に心肺蘇生の練習ができるだけでなく、自分のスキルを客観的に評価してくれる機能がついています。

スキルを向上させるための方法を明確にフィードバックし、「リアルタイム」に指導してくれるのが特徴です。

また、トレーニングの記録を保存・分析することで、より高い教育効果をもたらしてくれます。



製品の特徴

- ①頭部後屈、顎先挙上、圧迫深度、圧迫速さ及び胸の上りなどのリアルな解剖学的特徴。
- ②センサーが正確な手の位置を指示。
- ③換気システムにより、バッグバルブマスクや口対口を用いた人工呼吸のトレーニングの際に適切な胸の上りを実感。
- ④測定及びフィードバック機能を強化。
- ⑤SimPad スキルレポータとのワイヤレス接続
- ⑥ガイドライン 2010に対応。
- ⑦スキルガイドまたは SimPad スキルレポータとの有線接続。



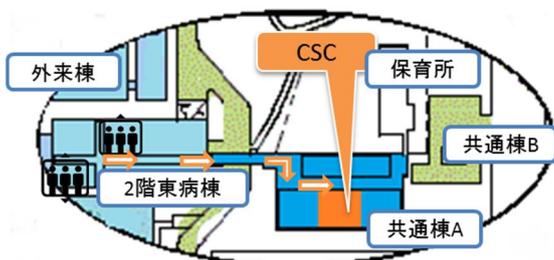
SimPad スキルレポータ

- ①リアルタイムでのCPRスキルのフィードバック。
- ②AED トレーナー使用時にシナリオをリモートコントロールできる。
- ③医療機器の除細動器使用時に、心調律を管理できる。
- ④評価モードでのトレーニング(リアルフィードバックモードをオフにすることも可能)。
- ⑤複数のマネキンのコントロールが可能。(ルータの使用による。)
- ⑥胸骨圧迫と人工呼吸の限度値・閾値が調整可能。
- ⑦付属の USB ケーブルにて、データをパソコンに簡単に移管し、バックアップ及び保存が可能。

バッテリーの持続時間は、急速充電で約4時間です。



CPRスキルアップのために是非ご利用くださいね！



【お問合せ先】

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先：内線:2860 / PHS:7580

E-mail：skillslab@asahikawa-med.ac.jp

スタッフ：渡邊(平日 8:30~15:30)

藤巻(平日 15:30~17:15)

お気軽にご連絡下さい♪

